

給湯暖房用熱源機 取扱説明書

タイプ	品名	型式名	B L 品番	号数
フルオート	XT4220LRSAW4C	GH-H241Z(A)WS	XT4220LRSAW4C	24号
	XT4220LRSAW4CZ		XT4220LRSAW4CZ	
オート	XT4220LRSSW4C		XT4220LRSSW4C	24号



このたびは給湯暖房用熱源機をお買い上げいただきましてありがとうございます。

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、十分に理解したうえで正しくご使用ください。

■機器本体の表示について(→P.2) をご覧になり、製品の品名をご確認ください。
この取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。
内容をよくご確認ください。
この取扱説明書やリモコンなど別売品に取扱説明書がある場合は、いつでもご覧になれる身近なところへ大切に保管してください。

取扱説明書を紛失された場合は、お買い上げの販売店、または最寄りのガス会社・弊社窓口にご連絡ください。
その際、機器本体の銘板をご覧のうえ、品名をお知らせください。

リモコン操作については、リモコン付属の取扱説明書も併せてご覧ください。

	もくじ	ページ
ご利用の前に	製品の特長……………	1
	潜熱回収型(高効率)の給湯暖房用熱源機です…	1
	安全に正しくお使いいただくために…	2
	この取扱説明書の表示について……………	2
	機器本体の表示について……………	2
	必ずお守りください……………	3
	各部の名称とはたらき……………	9
	機器本体……………	9
	ご利用前の準備……………	10
	機器の準備……………	10
	工場出荷時の設定について……………	10
長くお使いいただくために	冬期の凍結予防をするには……………	11
	不凍液による方法……………	14
	再使用するとき……………	14
	凍結してしまったとき……………	15
	点検のポイント・お手入れのしかた……………	16
	点検のポイント(月1回程度)……………	16
	お手入れのしかた(月1回程度)……………	16
	循環口フィルターの掃除(こまめに掃除)……………	17
	給水口フィルターの掃除……………	17
	定期点検のおすすめ(有料)……………	17
	点検・お手入れ後の確認……………	18
	故障かな?と思ったら……………	18
	エラー表示について(リモコンに表示されます)……………	21
	アフターサービスについて……………	22
	「あんしん点検」のおすすめ……………	23
	あんしん点検について……………	23
	お客様情報について……………	23
	仕様一覧……………	24
	保証書……………	裏表紙



製品の特長

快適な「お湯のある暮らし」のための便利な機能を豊富に揃えました。どうぞお役立てください。

■潜熱回収型(高効率)の給湯暖房用熱源機です

従来の機器では捨てていた一次熱交換器の排熱(約200℃)を二次熱交換器で回収する、高効率タイプの給湯暖房用熱源機です。ガスを効果的に使い、環境面でもCO₂削減に貢献します。

ドレン水が出ます

二次熱交換器で回収された排気ガス中の水蒸気が熱を奪われ、凝縮(水蒸気が水に戻る)して凝縮水(ドレン水)が生成されます。このドレン水は酸性水になりますが、機器内の中和器で中和して排出します。

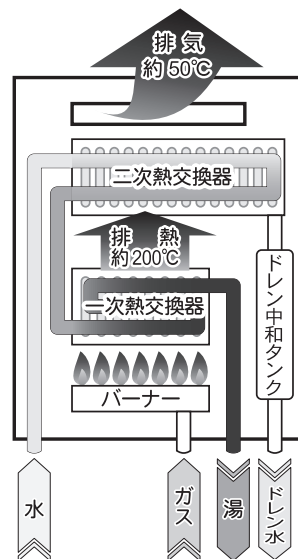
ドレン水は使用中、常時排出されます

機器の使用中は発生したドレン水(最大100cc/分程度)を常時排出します。ドレン水はドレン排出配管を通り、機器外へ排出されます。

白い湯気が出やすくなります

二次熱交換器で回収された排気ガスは熱を奪われ、温度が低く水分を多く含んでいます。このため排気ガスが外気に触れると結露し、白い湯気に見えます。

高効率の仕組み



便利です!

- ◆お風呂もシャワー・給湯・暖房も、これ1台でOK。
- ◆ふろ自動ボタンを押すだけの簡単操作でお風呂が沸かせます。
- ◆予約タイマー付きだから、忙しい方もお好きなときにバスタイム。
- ◆入浴お知らせ機能を使用すれば、入浴中に入浴時間をお知らせしたり、台所リモコンに入浴中をお知らせします。(フルオートタイプのみ)

快適です!

- ◆お風呂のお湯の温度を自動的に保温します。また、フルオートタイプは水位が下がったら、たし湯もします。いつも快適なお風呂です。
- ◆ミストサウナ機能付き浴室暖房乾燥機をご利用の場合、浴室へ入るタイミングをお知らせします。(対応浴室暖房乾燥機のみ)
- ◆ふろ配管をきれいにします。
フルオートタイプの機器では、お風呂のお湯(水)を排出したときに、自動的にふろ配管内の残り湯を流し出す機能があります。以下の条件がそろったときに浴槽のお湯(水)を排出するとふろ配管の残り湯を、きれいなお湯(リモコンが「OFF」の場合は水)約6ℓで流して浴槽の循環口から排出します。

条件

1. ふろ自動運転終了後、浴槽の残り湯が循環口より上にあった場合
2. 排水中に給湯などを使用していない場合

※ふろ配管内の残り湯を流し出す際には、ポンプの回る音がしますが故障ではありません。



環境にもやさしい!

- ◆リモコンは待機時の消費電力を低減するため、未使用時に画面表示を消す、省電力機能付きです。
- ◆リモコンには水とガスのプチ節約のためのECO機能があります。
- ◆残り湯はポンプ運転で洗濯機へ。水の節約(省資源)になります。
※浴槽の循環口の種類によって利用できない場合があります。

詳しくは、リモコンの取扱説明書をご覧ください

安全に正しくお使いいただくために

■この取扱説明書の表示について

製品を正しくお使いいただくためや、お使いになる方や他の方への危害・財産への損害を未然に防止するため、以下のような表示で注意を呼びかけています。

危険

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

お願い

安全・快適に使用していただくために、よく理解していただきたい内容を示しています。

(→P.XX)

参照ページを示しています。

読み替えについて

- ・給湯暖房用熱源機の電源が、燃料電池ユニットを通して供給されている場合は、この取扱説明書の『電源プラグを抜くまたは差し込む』と記載してある箇所は『専用ブレーカーを「切」または「入」にする』に読み替えてください。
- ・リモコンの種類によって、ボタンの名称が異なる場合があります。『ON/OFF ボタン』(「ON」または「OFF」)は『運転ボタン』(「入」または「切」)に読み替えてください。

■機器本体の表示について

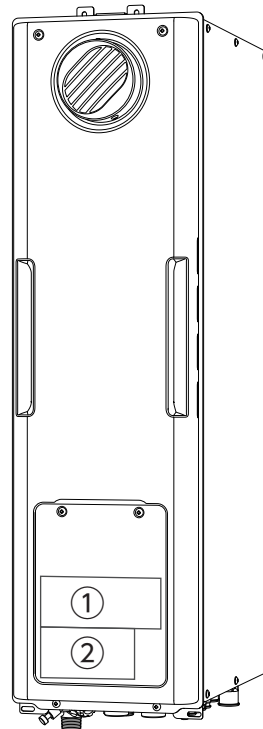
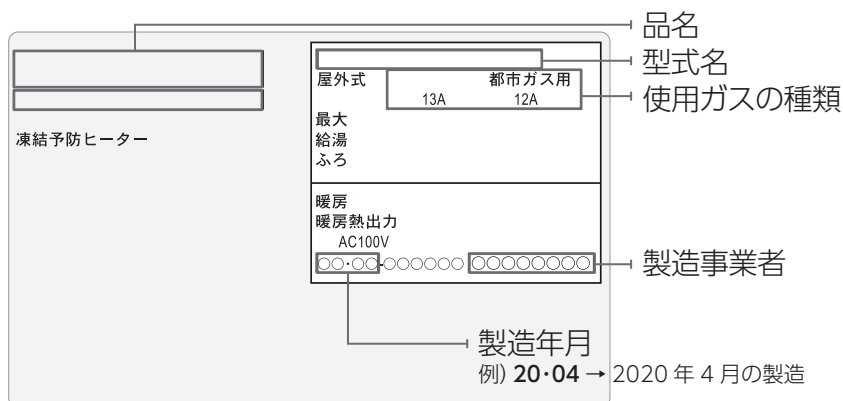
この製品は、製品タイプ(フルオートタイプ / オートタイプ)によって異なる機能があります。以下の方法で、製品の品名および製品タイプをご確認のうえ、取扱説明書をご覧ください。

①使用上の注意

使用上の注意について表示しています。

②銘板

品名・型式名・使用ガスの種類・製造年月・製造事業者などを表示しています。



●製品のタイプ(フルオートタイプ / オートタイプ)は表紙でご確認ください。

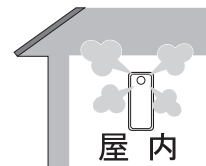
必ずお守りください

安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記しています。この内容は必ずお読みください。

危険

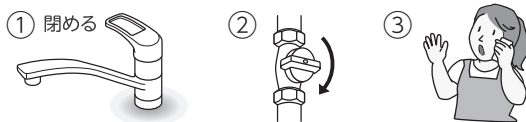
屋内に設置しない(この機器は屋外用です)

- 燃焼ガスが室内に充満したり正常な給排気ができなかつたりするため異常燃焼し、酸欠や一酸化炭素中毒などの原因になります。



ガス漏れに気付いたときは

- ① すぐに使用をやめて、給湯栓をすべて閉める。
- ② ガス栓を閉める。また、メーターのガス栓も閉める。
- ③ お買い上げの販売店、または最寄りのガス業者に連絡する。



すべての処置が終わるまでの間、絶対に

- ・火をつけない
- ・電気器具のスイッチの「入」/「切」をしない
- ・電源プラグの抜き差しをしない
- ・周辺で電話を使用しない

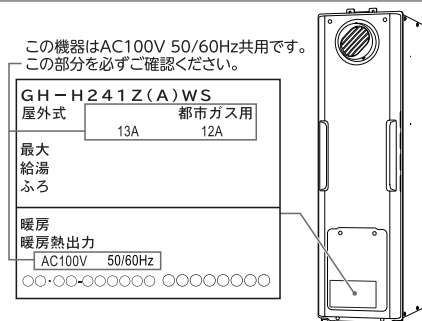


炎や火花で引火し、火災のおそれがあります。

警告

機器の銘板を確認

- 機器の銘板に表示してあるガス種(ガスグループ) および電源(電圧・周波数)で機器を使用する。
ガス種および電源が一致しないと不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、異常点火でやけどをしたり、機器が故障したりする場合があります。
- 転居時の注意は(→P.22)



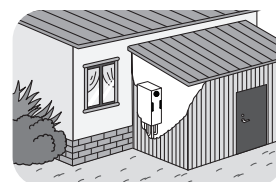
機器設置および付帯工事

- 機器の設置・移動および付帯工事は、お買い上げの販売店、または最寄りのガス会社・弊社窓口に依頼し、安全な位置に正しく設置する。設置工事に不備があると事故の原因になります。



増改築などで屋内状態にしない

- 設置後、機器や排気口を波板やビニール・塗装時に使用した養生シートなどで囲わない。不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。



ガス配管接続について

- この機器のガス配管の接続はねじ接続です。ガス配管接続工事には専門の資格・技術が必要です。機器の設置・移動・取り外しおよび付帯工事の際には必ずお買い上げの販売店、または最寄りのガス会社・弊社窓口にご相談ください。



改造・分解禁止

- 絶対に改造・分解は行わない。改造・分解は思わぬ事故や故障・火災の原因になります。

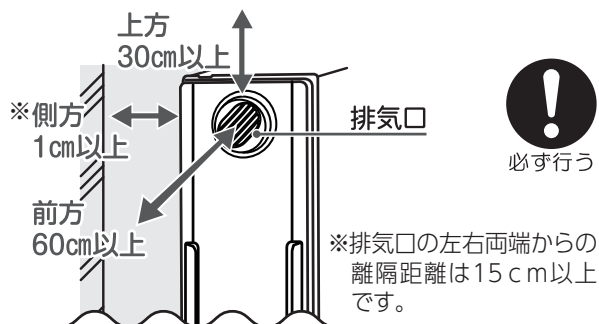


必ずお守りください

警告

火災予防のために必ず守ること

機器周辺のものとは常に図の離隔距離を確保する。



●機器および排気口の周辺には紙や木材・洗濯物など、燃えやすいものを置かない。火災の原因になります。



●機器の周辺では灯油・ガソリン・ベンジンなど引火性危険物を使用しない。火災の原因になります。



●機器の周辺や上にスプレー缶・カセットコンロ用ボンベを置いたり、使用したりしない。熱で缶・ボンベの圧力が上がり爆発のおそれがあります。



給湯・シャワー使用時、入浴時の注意

●シャワーなどお湯を使う場合は、リモコンの表示温度をよく確かめ、手のひらで温度を確認して湯温が安定してから使用する。次のようなときは注意してください。



- ・お湯を再使用するとき
- ・給水温度が高いとき
- ・給水圧が下がったとき
- ・お湯の量を急に少なくしたとき
- ・機器が故障したとき



- 入浴するときは、手で湯の温度を確認する。
- シャワー・給湯使用中に、使用者以外がリモコンの温度を変更したり、ON/OFF ボタンを「OFF」にしたり、「優先」を切り替えたりしない。

●使い始めは正常でも、使用中に熱くなる場合があるので、熱いお湯が出た場合はすぐに使用を中止する。このような状態が続く場合は機器の故障の可能性がありますので、お買い上げの販売店、または最寄りのガス会社・弊社窓口にご連絡ください。



●給湯使用時は出湯管(蛇口)に触らない。



●お風呂沸かし(沸かし直し)や追いだき時には、循環口付近は熱くなることがあるので触らない。

●浴槽のふたの上に乗ったり手をついたりしない。

怠ると思わぬ事故や、やけどのおそれがあります。

このような場合は使用しない

●増改築や家屋の修繕時(特に外壁の塗装)には、シートで排気口を覆うことがあります。このような場合は機器を使用しない。不完全燃焼や一酸化炭素中毒の原因になります。

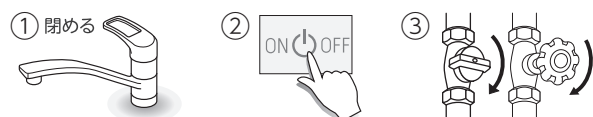


異常時の処置について

●地震・火災などの緊急時の場合は、以下の手順に従う。



- ①給湯栓を閉める。
- ②リモコンのON/OFF ボタンを「OFF」にする。
- ③ガス栓・給水元栓を閉める。



●給湯栓を開けても点火しない場合や使用途中で火が消える場合、または使用中に異常な燃焼や臭気・異常音・異常な温度を感じた場合



- ①ただちに使用を中止してガス栓を閉める。
- ②お買い上げの販売店、または最寄りのガス会社・弊社窓口にご連絡する。

機器本体やガス配管の接続部などに乗らない

●けがや機器の変形によるガス漏れ、不完全燃焼のおそれがあります。



ソーラー機器接続禁止

●弊社指定以外のソーラー機器とは絶対に接続しない。夏期にソーラーの水温が高くなるとお湯の温度制御ができなくなり、高温のお湯がそのまま出ます。やけどをしたり機器の故障の原因になったりします。



必ずお守りください

警告

電源コードの加工禁止

- 電源コードを切断したり加工をしたりしない。電源コードがコンセントに届く範囲としてください。感電や火災の原因になります。



禁止

許容電力以上の使用禁止

- コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。



禁止

電源プラグのほこりなどは定期的に取り除く

- ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。



必ず行う

電源プラグを抜くときの注意

- コンセントから電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜く。コードを引っ張ると内部で断線して発熱や火災の原因になります。



必ず行う

電源プラグは確実に差し込む

- 電源プラグは根元まで完全に差し込む。差し込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の原因になります。傷んだプラグ、緩んだコンセントは使わないでください。



必ず行う

アース必要

- この機器は接地工事(アース)が必要なもので、アースがされているか確認する。アースがされていない場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。



アースを必ず接続せよ

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

- ぬれた手で電源プラグを触らない。感電のおそれがあります。



感電注意



ぬれ手禁止

注意

用途について

- 一般家庭での台所・シャワー・洗面などへの給湯、お風呂沸かし、暖房(乾燥)以外の用途には使用しない。思わぬ事故につながる可能性があります。



禁止

機器本体の高温部に触らない

- 使用中または使用後しばらくは、排気口付近を触らない。やけどのおそれがあります。



接触禁止

据置台について

- 据置台のフロントカバーを外した場合、作業終了後には必ず外したカバーを取り付け、化粧ねじを確実に締め付ける。(→P.18)



必ず行う

リモコンの扱いについて

- 浴室リモコンは防水タイプですが故意に水をかけない。台所・増設リモコンは防水タイプではありませんので水をかけたり、炊飯器・電気ポットなどの蒸気を当てたりしない。故障の原因になります。



禁止

空だき防止について

- リモコンの追いだきボタンを押すときは、必ず浴槽の循環口上部より5cm以上お湯(水)が入っていることを確かめる。水位が循環口より低いと、空だきによる機器の故障や浴槽の損傷などの原因になる場合があります。



必ず行う

お子様について

- 浴槽のお湯(水)に潜ったり、浴室で遊ばせたりしない。
- 子供を機器の周囲や直下で遊ばせない。
- 子供だけで入浴させたり、お湯を使わせたりしない。

思わぬ事故につながる可能性があります。

※特に小さなお子様のいるご家庭では注意してください。



禁止

排気口について

- 排気口に指や棒を入れない。故障やけがの原因になります。



禁止

ドレン排出口から排出される水について

- ドレン排出配管から排出される水を飲料用・飼育用などに使用したり、触ったりしない。ドレン水に触ってしまった場合は、念のため水道水で洗い流してください。



禁止

お願い

この機器は一般家庭用です

- 業務用のような使い方をされると、機器の寿命を著しく縮めます。この場合の修理費は保証期間内でも有料となります。浴槽についても、一般家庭用サイズをご使用ください。

入浴時の注意

- 循環口フィルターを外して、お子様がオモチャなどをに入れて遊ばないように注意してください。機器の故障の原因になります。
- 浴槽の循環口をタオルなどで塞がないでください。循環不良によりお風呂沸かしができなくなったり、機器の故障の原因になったりします。

入浴剤や洗剤についての注意

- 強酸・強アルカリの洗剤および、硫黄・酸を含んだ入浴剤は、機器の性能低下や熱交換器などが腐食する原因になりますので使用しないでください。入浴剤の含有成分などを確かめ、機器への悪影響がないものをご使用ください。
- ふろ用洗剤または乳白色や白濁する入浴剤のなかには、沈殿物が熱交換器にたまって異音を発生したり、循環口フィルターや追いだき配管内にたまって動作不良を起こしたりするものがあります。沈殿物を生じないものでも熱交換器内で沸騰を起こし異音を発生することがあります。このような入浴剤は使用しないでください。
- 薬草やゆず入り入浴剤の場合は、薬草などが循環口フィルターや機器内部に詰まることがありますので、使用しないでください。

市販の補助用具について

- 事故防止のため、この機器専用の付属品・別売品以外は使用しないでください。
- 市販品の湯冷め防止器などは使用しないでください。

リモコンの扱いについて

- リモコンはお子様がいたずらしないよう注意してください。

電源プラグを抜かない

- お手入れや水抜き(凍結予防・長期不在時)を行うとき、または突発的な自然災害(雷など)以外は、電源プラグを抜かないでください。

飲用(調理用)にお使いのときは

- 機器内に長時間たまった水(たとえば朝一番の使い始めのぬるい湯が出るまで)は、飲用(調理用)には使用しないで雑用水としてお使いください。

通水使用の禁止

- リモコンのON/OFF ボタンを「OFF」にした状態で、給湯栓を開けて水を出したり、シャワーを浴びたりしないでください。機器内通水部分の結露により、機器の寿命を短くする原因になる場合があります。(冬期の凍結予防の場合を除く)

雷が発生しているときの注意

- 雷が鳴り始めたら速やかに使用を中止し、感電に注意して電源プラグをコンセントから抜いてください。
雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。



地下水や温泉水、井戸水では使用しない

- この機器は上水道用です。地下水・井戸水(簡易水道を含む)を使用すると、水質によっては機器内の配管内部に異物が付着したり短期間で銅管を腐食させたりするなど、耐久性を損なう場合や、機器が正しく作動しないことがあります。地下水・井戸水(簡易水道を含む)を使用する場合は施工前に十分水質^{*}を確認してください。ただし、地下水・井戸水(簡易水道を含む)には様々な成分が溶け込んでいるため、機器に対する影響は正確に判断できませんので、保証期間内でも有料修理となります。
^{*}飲料水適合していることを原則として、硬度60mg/ℓ以下・pH7～8・遊離炭酸4mg/ℓ以下が望ましい。
- 温泉水は使用しないでください。

停電時または電源プラグを抜いたとき

- この機器は、停電時や電源プラグを抜いたときは使用できません。
- 停電時は給湯栓を閉めてください。
- 復電後は、リモコンの現在時刻設定を行い、給湯温度などの表示を確認してからご使用ください。
- 自動でお風呂を沸かししているときに停電になると、ふろ自動運転が停止します。復電後、リモコンの取扱説明書をご覧ください。
- 復電後、自動でお風呂沸かしをするといつもとよりお湯張り時間が長くなる場合があります。(フルオートタイプ)

ガス事故防止のために

- 使用時の点火、使用後の消火のほか、使用中も正常に燃焼していることをリモコンの燃焼表示(または燃焼ランプ)で確認してください。

必ずお守りください

お願い

断水のと看

- 給湯栓を閉め、リモコンのON/OFF ボタンを「OFF」にしてください。
- 断水から復帰後、使い始めのお湯は飲用や調理用などに使用しないでください。飲用や調理用に適さない水が給水配管内にとどまることがあります。

日常の点検・お手入れ

- 浴槽や洗面台が、水中の微量の銅イオンと脂肪分(湯あか)により青く着色することがあります。日々、浴室や洗面台のお手入れをするとともに、万ー着色した場合はクレンザーやアンモニア水(10%程度)などで拭き取ってください。
- この機器は熱効率がいため、機器の使用中はドレン水が排出されます。(→P.1) ドレン排出配管の先端からドレン水が排出されているか確認してください。ゴミなどで塞がれている場合は掃除を行ってください。

積雪時の閉塞について

- 積雪時は給気口・排気口の点検、除雪を行い、積雪や屋根から落ちた雪により給気口・排気口が塞がれないように注意してください。故障の原因になります。

設置する場所や状況について

お願い

設置場所について

- 設置場所をお決めになるときは近隣の家が運転音(燃焼・燃焼ファン・ポンプ回転)で迷惑にならない場所に設置してください。(工事担当者でご相談ください)
- 足場などを組んだり、ハシゴ・脚立を使わなければメンテナンスができない高所などに設置しないでください。メンテナンスをお断りすることがあります。
- 塀などを増設する場合は、機器の点検・修理のためと燃焼不良の発生を防止するために空間を確保し、空気が流れが停滞しないようにしてください。

排気ガス

- 増改築によって、排気ガスが直接建物の外壁や窓・ガラス・網戸・アルミサッシなどに当たらないようにしてください。変色・破損・腐食の原因になります。
- 排気口の周囲には、排気口からの排気ガスによって加熱されて困るもの(危険物・植物・ペットなど)を置かないでください。
- この機器は熱効率がいため、排気口から白い湯気が出やすくなっています。これは水蒸気であり、故障ではありません。

給排気について

- 機器は給気・排気が十分できる場所に設置してください。給排気が不十分な場所に設置すると不完全燃焼の原因になります。

ほこり

- 砂・油煙・ペットの毛など、ほこりのたちやすい場所には設置しないでください。ほこりが給気口を塞いで燃焼ファンの性能を低下させ、不完全燃焼の原因になります。

塩害

- 海岸近くに設置するときは、潮風にさらされる場所を避けてください。機器が腐食し、故障の原因になります。

塩ビ管の使用について

- 給湯配管に塩ビ管を使わないでください。機器の使用直後、熱交換器の後沸きにより塩ビ管が破裂し、熱湯が噴き出すなど、多量の水漏れの原因になります。(ただし、ドレン排出配管は除きます)

人工炭酸泉装置についての注意

- 人工炭酸泉装置は、高濃度の炭酸ガスを湯に溶かしこむため弱酸性となります。そのため、追いだきを行うと熱源機内の配管・内胴・浴槽内の循環アダプター等が変色・腐食する場合があります。

必ずお守りください

床暖房についての注意



やけどに注意

- 床暖房の上で長時間、座ったり寝そべったりしない。低温やけどを起こすおそれがあります。特に次のような方が使用する場合は、周りの人が注意してあげることが必要です。
 - ・乳幼児・お年寄り・病人など自分の意思で体を動かさない方
 - ・疲労の激しいときやお酒・睡眠薬を飲まれた方
 - ・皮膚や皮膚感覚の弱い方



火災予防

- 床暖房の上にスプレー缶・カセットコンロ用ボンベ・ライターなどを置かない。熱でスプレー缶などの圧力が上がり、スプレー缶などが爆発するおそれがあります。



床についての注意

床に水などをこぼさない

- 床面に水・薬品・しょうゆ・ペットの排泄物などがこぼれたら、速やかに拭き取ってください。常時水の飛び散る台所や洗面所周辺は、ぬれたまま長時間放置しないでください。床仕上げ材や床暖房パネルの変色・はがれ・劣化など、品質を損なう原因になります。



床暖房の上に、鋭利なもの(釘・画びょう・きり・ダニ防虫剤の注射針・はさみなど)を落としたり刺したりしない

- 水漏れの原因になります。



床暖房の上に、調度品・家具などを直接置かない

- 家具などに熱がこもって、ひずみなどが生じる原因になります。床面と家具などの間に空間を設けるようにし、熱がこもらないようにしてください。



重いものはそのまま置かない

- ピアノなどの重量物にはパッドなどを敷いて、一か所に荷重がかからないよう設置してください。床が破損し、水漏れの原因になります。



キャスター付きの椅子や家具、車椅子を使用しない

- フローリング表面の傷やへこみ・はがれ・床鳴りなどの原因になります。



重量物を移動させるときは引きずらない

- 床仕上げ材表面の傷やへこみ・はがれの原因になります。椅子の脚など床に接触する部分には、フェルトなどをつけてください。



床暖房の上にエアコンやテレビなどのリモコンを長時間置かない

- リモコンの故障の原因になります。



床暖房を電気カーペットやこたつなどと併用しない 敷物は敷かない

- 性能が発揮できなかったり、熱がこもって床仕上げ材の割れ・そり・すき間・変形・変色などの原因になります。



床暖房を他の目的に使用しない

- 特殊な用途(例えば衣類の乾燥や動物の飼育、植物の栽培、食品の保存など)には使わないでください。



床仕上げ材のお手入れは、床仕上げ材メーカーの取り扱い方法に従う 床仕上げ材の張り替えは、床仕上げ材メーカーの指定工法で施工する

- 詳しくは床仕上げ材メーカーへお問い合わせください。



床下の防腐・防蟻処理時、床暖房や配管などに処理剤が付着しないよう注意する

- 床暖房が破損し、水漏れの原因になります。



閉め切った部屋で長時間使用しない

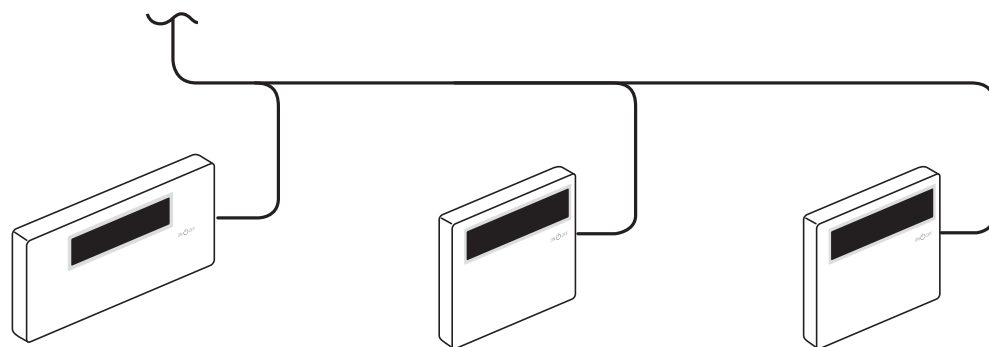
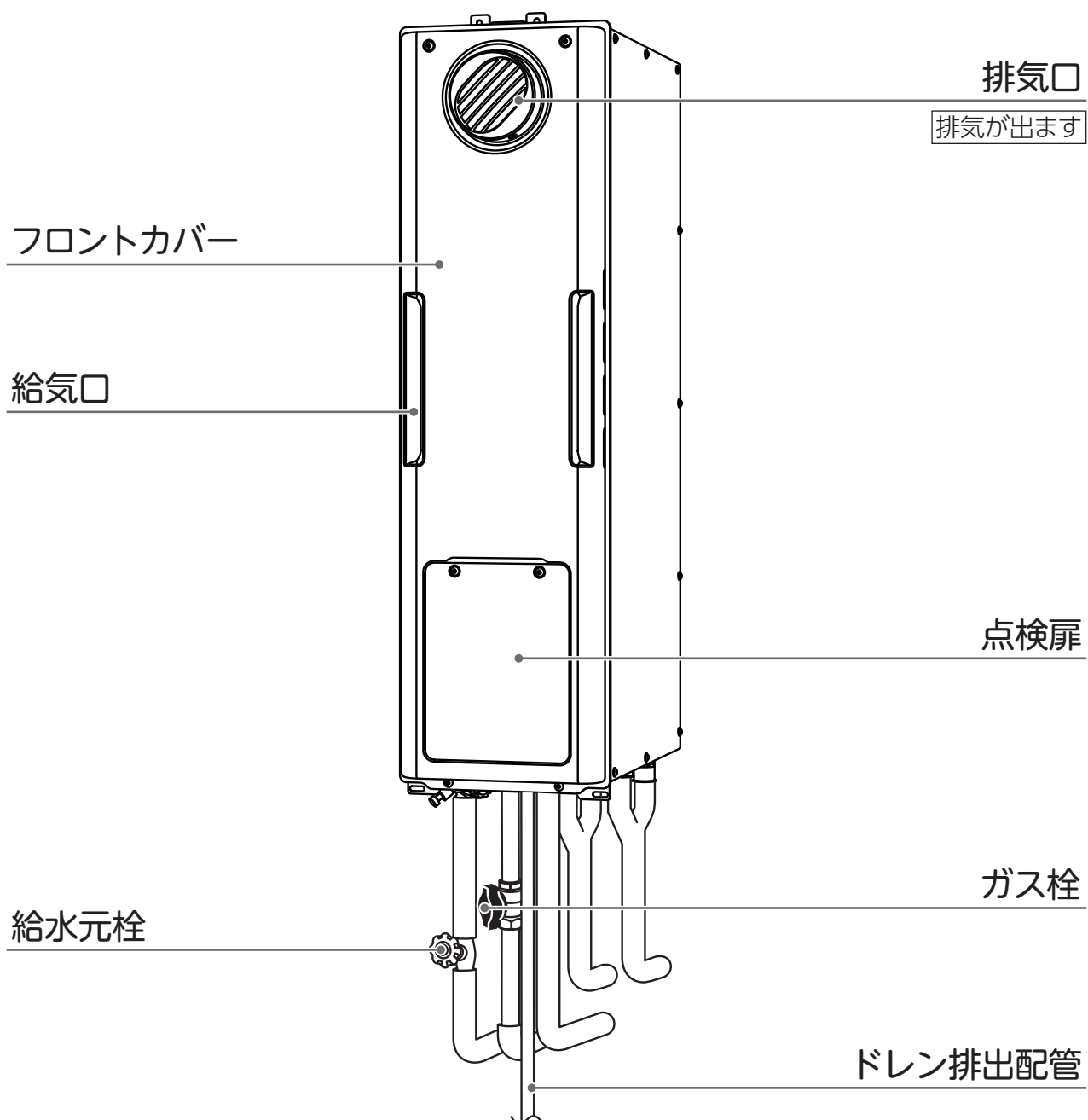
- 閉め切った部屋で長時間使用すると、ごくまれに体調が悪くなる場合があります。窓を開けるなどして換気をしてください。これは、接着剤や床材に含まれるホルムアルデヒドが原因のひとつと考えられますが、床暖房以外の原因も考えられるため、工事業者にご相談ください。





各部の名称とはたらき

■機器本体



浴室リモコン 別売品

台所リモコン 別売品

増設リモコン 別売品

ご利用前の準備

はじめてお使いになるときは、まず機器の準備をします。

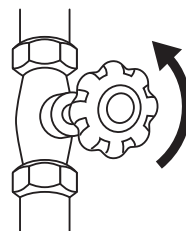
■機器の準備

1 機器や機器周辺の点検・確認を行う

■点検のポイント(→P.16)をご覧ください。

2 給水元栓を全開にする

機器の下部にあります。



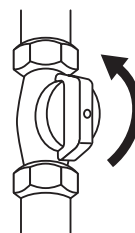
3 給湯栓を開ける

水が出ることを確認したら閉めます。



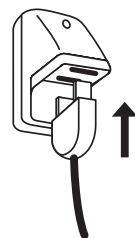
4 ガス栓を全開にする

機器の下部にあります。



5 電源プラグをコンセントに差し込む

機器周辺にあります。



■工場出荷時の設定について

工場出荷時の設定は機器により違う場合があります。以下の表をご覧ください。機器をご利用ください。

タイプ	給湯温度	ふろ温度	ふろ水位	保温時間	ふろ待機設定	自動配管クリーン
フルオート	40℃	40℃	洋バス設定 6(36cm)	4時間	しない(ふろ優先)	する
オート	40℃	40℃	通常浴槽設定 6(180ℓ)	4時間	しない(ふろ優先)	——

※詳細はリモコンの取扱説明書をご覧ください。



冬期の凍結予防をするには

お願い

- 暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがあります。以下をお読みいただき、必要な処置をしてください。
- 凍結により機器や配管が損傷した場合の修理費は、保証期間内でも有料となります。

処置 1

← 通常の寒さのとき

処置 2または3

← 外気温が-15℃を下回るとき -15℃より高くても風のある日

処置 3

← 長期間使用しないとき

処置 1

凍結予防装置による方法

機器には、気温が下がってくると自動的に機器内を保温する凍結予防ヒータと、浴槽の水(お湯)を循環してふる配管の凍結を予防する、凍結予防装置がついています。

機器の電源プラグは、抜かない

電源プラグを抜く、または分電盤のブレーカーを「切」にすると凍結予防装置がはたらきません。

- ◆凍結予防装置は、リモコンのON/OFF ボタンの「ON」/「OFF」に関係なく作動します。
- ◆配管は凍結することがあります。配管は必ず保温材を巻くなど、地域に応じた処置をしてください。

浴槽の水位を循環口上部より5 cm以上高い位置にする

浴槽の水(お湯)を循環して凍結予防をするため、浴槽の残り湯は捨てずにそのままにしておいてください。

- ◆浴槽の水(お湯)を循環する凍結予防の動作中は、リモコンに❄️や❄️を表示します。

※リモコンの種類によっては、🔌を点滅表示します。

※リモコンのON/OFF ボタン「OFF」や省電力待機中は表示しません。

暖房回路の凍結予防のためにガス栓は開けておく

暖房回路は気温が下がってくると自動的に暖房運転(燃焼)し、暖房回路を温めて凍結予防をします。

- ◆機器および端末機器の電源プラグを抜く、または分電盤のブレーカーを「切」にしないでください。
(端末機器の種類によっては凍結予防ができない場合があります)
- ◆暖房凍結予防の動作中、リモコンによっては❄️や❄️を表示します。
- ◆暖房回路の凍結予防には、不凍液を使用する方法もあります。(→P.14)

お願い

- お使いになるときは、給湯栓を開けて水が出ることを確認してから、リモコンのON/OFF ボタンを「ON」にしてください。

冬期の凍結予防をするには

処置 2 給湯栓から水を流す方法

この方法は機器本体だけでなく、給水・給湯配管やバルブ類および給湯栓の凍結予防に有効です。

1 リモコンのON/OFF ボタンを「OFF」にする

必ず行います。

※リモコンのON/OFF ランプが消灯していることを確認してください。

2 浴室の給湯栓を開け、1分間に400cc程度の水を流し続ける

流量が不安定なことがありますので、念のため約30分後に流量を確認してください。

※サーモスタット式混合水栓やシングルレバー式混合水栓の場合は最高温度側にします。

※浴槽に水を流す(ためる)場合、浴槽のサイズによっては水があふれることがあります。

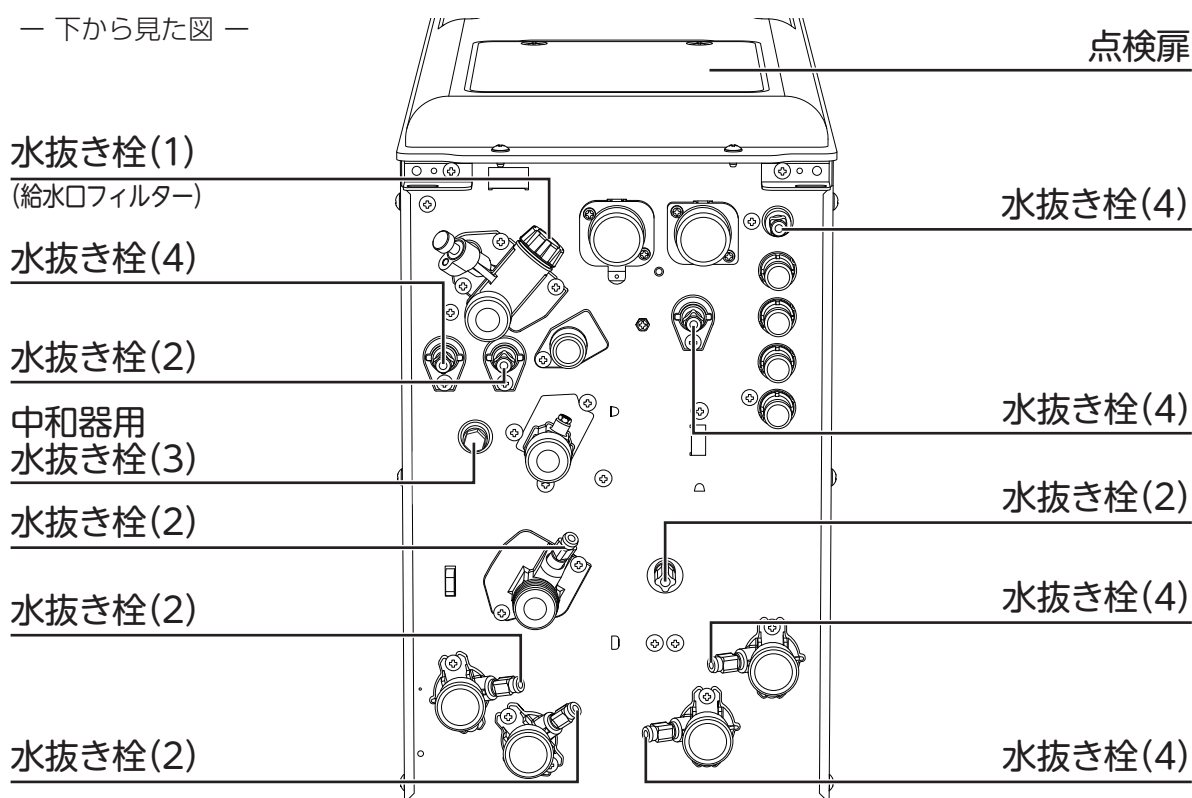


メモ

- 給湯栓から水を流す方法で凍結予防をしているときは、家の人に凍結予防のために水を流していることをお知らせください。水を止めると凍結します。
- 通水使用の禁止として、リモコンのON/OFF ボタンを「OFF」にした状態で給湯栓を開けて水を出さないようにお願いをしていますが、凍結予防の場合は問題ありません。(→P.6)
- サーモスタット式混合水栓やシングルレバー式混合水栓をご利用の場合は、再使用時の給湯温度設定にご注意ください。

□水抜き栓位置図

— 下から見た図 —





冬期の凍結予防をするには



注意

- 使用後すぐに水抜きをしない。やけどのおそれがあります。機器やお湯が高温になっていますので冷えてから行ってください。
- 据置台のフロントカバーを外した場合、作業終了後には必ず外したカバーを取り付け、化粧ねじを確実に締め付ける。(→P.18)



必ず行う

処置 3

機器の水を抜く方法

入居前や長期不在で分電盤のブレーカーを「切」にする場合や、電源プラグを抜く必要がある場合には、この方法で機器内の水を排出し凍結予防をします。

排水後は、次にお使いになるまでそのままにしておいてください。

1

ガス栓と給水元栓を閉める

機器の下部にあります。

2

浴槽の水を完全に排出する

3

浴室リモコンのON/OFF ボタンを「ON」にし、追いだきボタンを5秒間押し続ける

※浴槽の水が排出されていないと浴室リモコンに「032」が点滅します。再度、浴槽の水が排出されているか確認してください。

4

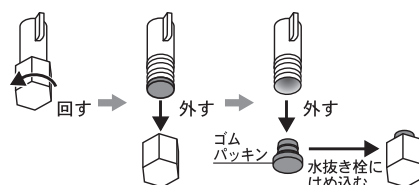
すべての給湯栓を全開にする

※給水元栓を閉めているため、給湯栓を開けてもほとんど水は出ません。水が出続ける場合は、再度給水元栓が閉めてあるか確認してください。

5

水抜き栓(1) (2) (3)を外す
水抜き栓(3)の外しかた

水抜き栓(3)は中のゴムパッキンを外して、紛失防止のため水抜き栓にはめ込みます。



※水抜き栓の位置は、□水抜き栓位置図(→P.12)をご覧ください。

6

暖房回路の水を抜く前に、不凍液注入の確認をする

【不凍液が入っている場合】

7 8 の操作を行う

【不凍液が入っていない場合】

水抜き栓(4)を外す

※不凍液注入の有無は、機器フロントカバー貼付のラベルで確認します。

※水抜き栓の位置は、□水抜き栓位置図(→P.12)をご覧ください。

7

必ず電源プラグを抜く

コンセントは機器の周辺にあります。電源プラグを抜き忘れると機器の故障の原因になります。

8

水抜き栓からの排水を確認し、すべての水抜き栓を元に戻す

お願い

- 水抜きをした後は浴槽へ水を流しこまないでください。再び使用するまでそのままにしておいてください。
- 暖房回路の水抜きを行った場合は、再び使用するときに水張り作業が必要です。お買い上げの販売店、または最寄りのガス会社・弊社窓口にご連絡ください。
- 水抜きの操作をすると、機器本体だけでなく配管や端末機器内の水も出てきます。水が流れては不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して水を受けてください。

冬期の凍結予防をするには

■不凍液による方法

- 寒冷地では指定された不凍液を使用してください。指定以外の不凍液は機器に悪影響を与える場合がありますのでご注意ください。
- 不凍液は経年劣化しますので毎シーズン初めにお買い上げの販売店、または最寄りのガス会社・弊社窓口にて点検を依頼してください。(有料)
- 不凍液の性能が低下している場合は交換(有料)が必要です。性能が低下したまま使い続けると、凍結・破損・腐食の原因になります。

■再使用するとき

水抜き後、再度使用するときは次の操作をしてください。

 注意	●据置台のフロントカバーを外した場合、作業終了後には必ず外したカバーを取り付け、化粧ねじを確実に締め付ける。(→P.18)	 必ず行う
--	---	--

- 1** すべての水抜き栓およびすべての給湯栓が閉めてあることを確認する
※水抜き栓の位置は、□水抜き栓位置図(→P.12)をご覧ください。
- 2** 給水元栓を開け、機器や配管より水漏れがないか確認する
給水元栓は機器の下部にあります。
- 3** すべての給湯栓を開け、水が出ることを確認したら給湯栓を閉める
水漏れがないことを確認したあと、給水元栓を全開にしてください。
- 4** ガス栓を全開にし、電源プラグを差し込む
ガス栓は機器の下部にあります。コンセントは機器の周辺にあります。
- 5** リモコンのON/OFF ボタンを「ON」にし、現在時刻を設定する
リモコンの種類によっては、年・月・日の設定も必要です。リモコンの取扱説明書で確認してください。
- 6** 給湯栓を開け、お湯が出ることを確認する
- 7** ふろ自動運転を行い、循環口からお湯が出ることを確認する
※しばらく(1分程度)しても循環口からお湯が出ない場合は、ふろ自動運転を中止してください。

通水後初めての給湯・暖房・ふろ使用で、リモコンにエラー番号“173”“543”が出る場合

端末機器側の運転とリモコンのON/OFF ボタンを一旦「OFF」にし、機器の給水元栓が開いていること、すべての暖房水抜き栓が閉まっていることを確認し、電源プラグの抜き差しをしてから再使用してください。それでもエラーが出る場合は、お買い上げの販売店、または最寄りのガス会社・弊社窓口にご連絡ください。

お願い

- 再使用するときは、すべての水抜き栓が確実に閉めてあることを確認してください。閉めかたが不十分だったり閉め忘れたりすると、そこから水漏れします。



冬期の凍結予防をするには

■凍結してしまったとき

凍結したときは給湯栓を開けても水は出てきません。凍結したままでは絶対に使用しないでください。解凍するまで待つて、次の操作により水が出ることを確認してから運転してください。



注意

- 凍結による水漏れに気付いたときは、速やかに給水元栓を閉め、機器の使用を中止する。床や壁などをぬらして生じる損害は、お客様の責任となります。
- 据置台のフロントカバーを外した場合、作業終了後には必ず外したカバーを取り付け、化粧ねじを確実に締め付ける。(→P.18)



必ず行う

1

ガス栓および給水元栓を閉める

機器の下部にあります。

※給水元栓を閉めるのは、配管が破損していた場合の水漏れを防ぐためです。

2

リモコンのON/OFF ボタンを「OFF」にする

※リモコンの運転ランプが消灯していることを確認してください。

3

ときどき給水元栓を開けて、給湯栓から水が出ることを確認する

水が出てくれば使用できます。

4

給水元栓を全開にし、ガス栓を全開にする

必ず、機器および配管から水漏れがないことを確認します。

5

リモコンのON/OFF ボタンを「ON」にする

6

給湯栓を開け、お湯が出ることを確認する

7

ふろ自動運転を行い、機器の水漏れがないことを確認する

また、循環口からお湯が出ることも確認する

※しばらく(1分程度)しても循環口からお湯が出ない場合は、ふろ自動運転を中止してください。

お願い

- 給水・給湯配管が凍結すると配管や給湯栓が破損することがあります。解凍後は、全ての給湯栓を閉めてから水道メーターを見るなど水漏れしていないことを確認してください。

点検のポイント・お手入れのしかた

 警告	●フロントカバーを外したり、リモコンを分解したりしない。  分解禁止
 注意	●台所・増設リモコンは防水タイプではないので、水をかけない。リモコンの内部には電気部品が入っていますので故障の原因になります。また、浴室リモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。  禁止 ●リモコンのお手入れには、シンナー・アセトン・ベンジンなどの有機溶剤や洗剤(塩素系洗剤・酸性洗剤・アルカリ性洗剤)、みがき粉(研磨剤の入った洗剤)、メラミンスポンジやたわしなどを使用しない。リモコン本体の変色や変形・傷・割れなどの原因になります。 ●機器本体のお手入れは、ガス栓を閉め、電源プラグを抜き、機器が冷えてから行う。また、けがなどしないように、手袋などを着用し十分注意してください。  必ず行う

■点検のポイント(月1回程度)

次の6つのポイントで点検してください。

1. 機器および配管から水漏れはありませんか？

水漏れは、機器の故障だけでなくお隣や階下の方にも多大な迷惑をかけます。

2. 機器および配管からガスの臭気がしませんか？

3. 運転中に機器から異常音が聞こえませんか？

4. 機器の外観に異常は見られませんか？

5. 機器のまわり、および排気口のそばに燃えやすいものはありますか？

また、整然とされていますか？

機器のまわりが雑草や木くず・箱などで雑然していると、機器の内部に害虫(ゴキブリなど)が侵入したり、くもが巣をはったりして、機器の故障などの原因になる場合があります。

6. 浴槽に循環口フィルターがついていますか？



長年ご使用の場合、こんな症状が出ていませんか？

毎日、普通に使用している給湯器も5年、10年と長期間のご使用により、ちり・ほこりや羽虫などが少しずつ内部部品に詰まり、初期性能を発揮できなくなったり、さまざまな不具合を生じることがあります。今お使いの機器を安全にご使用いただくために、状態を確認して次のような症状がみられる場合は使用を中止し、お買い上げの販売店、または最寄りのガス会社・弊社窓口にご相談ください。

①最近、シャワーなどお湯の温度がいつもよりぬるくなったと感じる。

②高温にセットしても、高温のお湯が出ない。

※常に40℃前後でご使用のお客様は、月に1回程度高温にセットして、高温のお湯が出ることを確認してください。

③お湯が熱くなったり、ぬるくなったりする。

④給湯器の排気口から煙が出ていたり、変なおいがしたりする。

⑤給湯器の排気口の周りが黒くなっている。

■お手入れのしかた(月1回程度)

機器本体およびリモコンのお手入れ

●汚れは、湿ったやわらかい布で軽く拭き取ってください。

●洗剤およびシンナー・ベンジンなどは、使わないでください。変色・変形する場合があります。



お願い

●安全にお使いいただくために、点検・お手入れは月1回程度必ず行ってください。

●給湯栓の先端に泡沫器が内蔵されているものについては、ときどき内部のフィルター(金網)を掃除してください。

●水圧の低い地域では泡沫器は使用しないでください。

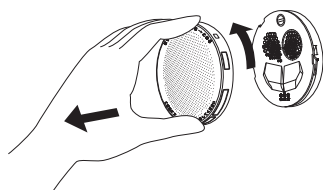
●故障または破損したと思われるときは使用しないでください。このときご家庭で修理せず、お買い上げの販売店、または最寄りのガス会社・弊社窓口にご連絡ください。

点検のポイント・お手入れのしかた

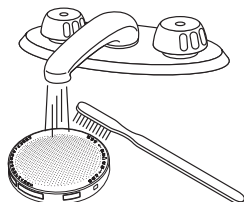
■循環口フィルターの掃除(こまめに掃除)

浴槽をお掃除するときは循環口フィルターも掃除してください。循環口フィルターには、湯あかや毛、タオルのくずなどが意外と多くたまります。循環口フィルターが詰まると、お湯張りの時間が長くなったり、追いきができなくなる場合があります。

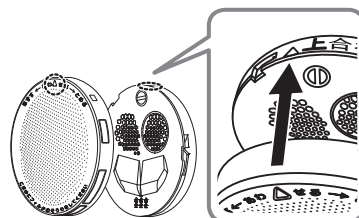
1 左に回して
手前に引く



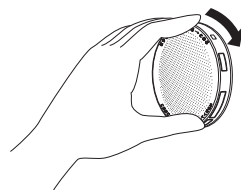
2 歯ブラシなど
で洗う



3 △の印を合わせ
はめる



4 右に回して
止める

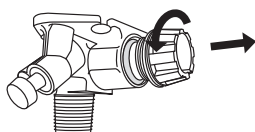


■給水口フィルターの掃除

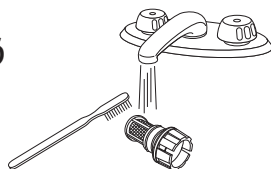
給水口フィルターが詰まるとお湯の出が悪くなったり、お湯にならなかったりする場合があります。次の要領で給水口フィルターを掃除してください。

1 給水元栓を閉める
給湯栓を開けて閉める

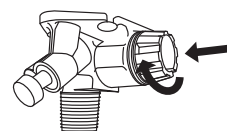
2 水抜き栓を外す



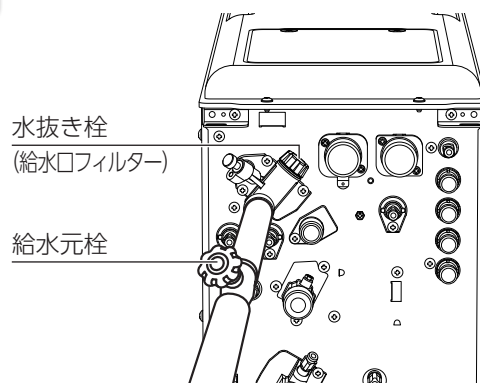
3 歯ブラシなどで洗う



4 水抜き栓を元に戻す



5 給水元栓を全開にする



■定期点検のおすすめ(有料)

機器を安心して長くご使用いただくために、1年に1回程度点検を受けることをおすすめします。なお、給水用具(逆流防止装置)に関しては、4～6年に1回程度の点検をおすすめします。点検はお買い上げの販売店、または最寄りのガス会社・弊社窓口にご相談ください。

お願い

- 循環口フィルターは必ず取り付けてご使用ください。
循環口フィルターを付けずに運転すると、ポンプなどの故障の原因になります。
- 給水口フィルターを外すと水が出ます。
水が流れては不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して水を受けてください。
- 再使用するときは、水抜き栓(給水口フィルター)を元に戻して確実に閉めてください。閉めかたが不十分だったり閉め忘れしたりすると、そこから水漏れします。
- 別売のユニットを取り付けている場合、ユニットに付属の取扱説明書も併せてご覧ください。

点検のポイント・お手入れのしかた

■点検・お手入れ後の確認

点検・お手入れ後はガス栓を全開にして、リモコンのON/OFF ボタンを「ON」にしてから給湯栓を開き、機器が正常に作動していることを確認してください。万一、異常な燃焼・臭気・音を感じられたときは使用を中止し、ガス栓を閉めてお買い上げの販売店、または最寄りのガス会社・弊社窓口にご連絡ください。

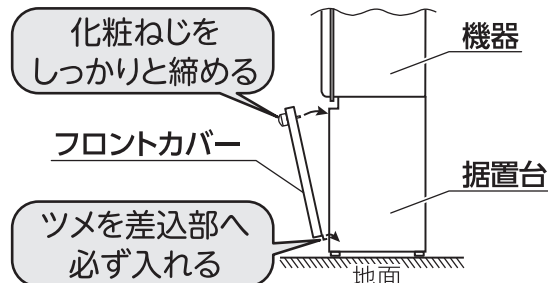
据置台のフロントカバーについて

据置台のフロントカバーを外した場合、作業終了後には必ず外したフロントカバーを元のとおり取り付けてください。

①フロントカバー下部のツメを差込部へしっかり差し込み、外れないことを確認。

②化粧ねじを緩みがないように確実に締める。

※ねじに緩みがある場合、強風でフロントカバーが外れるおそれがあります。



故障かな?と思ったら

給湯栓やシャワーから出るお湯	
こんなとき	こんなことが考えられます / ここを調べてください
給湯栓を絞りすぎて水になった	給湯栓から出るお湯の量をかなり少なくすると、機器が燃焼を止め、水になります。給湯栓をもっと開けてください。
給湯栓を開けてもお湯が出ない	ガス栓・給水元栓が全開になっていますか。(→P.10) 断水していませんか。断水中は機器を使用できません。(→P.7) 給湯栓が十分に開いていますか。少ないとお湯にならない場合があります。 給水口フィルターが詰まっていますか。給水口フィルターの掃除をしてください。(→P.17) ガスメーター(マイコンメーター)がガスを遮断していませんか。 リモコンのON/OFF ボタンが「ON」になっていますか。 機器の電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。(→P.10)
給湯栓を開けてもすぐにお湯が出てこない	機器から給湯栓まで距離がありますので、お湯が出てくるまでには少し時間がかかります。
低温のお湯が出ない 高温のお湯が出ない	ガス栓が全開になっていますか。(→P.10) 給水元栓が全開になっていますか。(→P.10) 給湯温度の設定は適切ですか。 夏場など、水温が高いときに低温のお湯を出そうとすると、お湯の温度が設定温度より高くなる場合があります。 少量のお湯を出そうとすると、お湯の温度が設定温度より高くなる場合があります。 「ふろ自動」や「たし湯」中にお湯を使用すると給湯温度の表示はそのまま、ふろ温度のお湯が出ます。ふろ自動やたし湯が終了しても、出湯中のお湯の温度はふろ温度のまま給湯温度に戻りません。一旦お湯を止めてから再度給湯栓を開けてください。 ※ふろ自動やたし湯を一時中断して、給湯温度のまま出湯させる設定もあります。
給湯温度の変更ができない	操作しているリモコンの画面に優先が表示されていますか。
給湯栓から出るお湯の量が少ない 給湯栓から出るお湯の量が変化する	機器から一度に出るお湯の量には限りがあります。同時に複数の給湯栓からお湯を出したり、「ふろ自動」や「たし湯」運転をするとお湯の量が減る場合があります。 湯温を安定させるために自動的に湯量を調整しています。すぐに湯量は安定します。 給湯栓の種類によっては、初め多く出てその後安定するなど、出湯量が変化するものがあります。
お湯が白く濁って見える	水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、大気圧まで急速に減圧されることで細かい泡となって出てくる現象です。汚濁とは違ってまったく無害なもので、異常ではありません。



故障かな?と思ったら

お風呂	
こんなとき	こんなことが考えられます/ここを調べてください
お風呂の温度が熱い お風呂の温度がぬるい	ふろ温度の設定は適切ですか。 循環口フィルターが詰まっていますか。循環口フィルターの掃除をしてください。(→P.17)
お風呂のお湯が少ない(多い)	ふろ水位の設定は適切ですか。 循環口フィルターが詰まっていますか。循環口フィルターの掃除をしてください。(→P.17) 残り湯がある状態で「ふろ自動」を行うと、水位が高くなる場合があります。 【フルオートタイプの場合】設定した水位にならない場合は、リモコンの取扱説明書をご覧ください。ふろ水位のリセットを行ってください。
「ふろ自動」の初めにお湯張りがとどき停止する	正確にお湯張りを行うため、浴槽の残り湯を確認するための動作です。異常ではありません。
お風呂を使用していないのに循環口からお湯(水)が出る	【フルオートタイプの場合】浴槽のお湯を排出した後、ふろ配管内の残り湯を流し出す機能がはたらくと、循環口からお湯(水)が出ます。異常ではありません。 お湯を使用すると機器内が温まり、ふろ配管に残っている水が循環口から出る場合があります。 凍結予防のためにポンプが回ったとき、ふろ配管に残ってる水が循環口から出る場合があります。
自動配管クリーンが途中で止まる	自動配管クリーン動作中に給湯・シャワーを使用すると、自動配管クリーンは終了します。異常ではありません。
追いだきができない 追いだきが停止する	循環口フィルターが詰まっていますか。循環口フィルターの掃除をしてください。(→P.17) 循環口上部より5cm以上お湯(水)が入っていますか。足りない場合はお湯(水)を足してください。
お風呂の沸き上がりがいつもより時間がかかる	ふろ待機設定を「する」(給湯優先)に設定した場合、「ふろ自動」と給湯を同時に行うと、給湯使用中の間はお風呂のお湯張りが一時中断します。給湯を止めるとお湯張りを再開します。そのためお風呂の沸き上がりにかかる時間がいつもより長くなります。 給湯・暖房・お風呂沸かしを同時に行うと一時的に能力が下がり、沸き上がりまでに時間がかかる場合があります。

機器	
こんなとき	こんなことが考えられます/ここを調べてください
排気口から白い湯気が出る	冬場など外気温が低いときには、排気ガスが外気に触れると結露し、白い湯気に見えます。異常ではありません。この機器は熱効率が高いため、白い湯気が出やすくなっています。 機器を使用していない場合でも、暖房回路の凍結予防時には白い湯気が出ます。
給湯使用中や給湯終了後しばらくの間コトコトと音がする	お湯の温度を安定させるためにモーターを動かしているときに発生している音で、故障ではありません。
出湯停止後しばらくファンの回転音がする	再使用時の点火をより早くするため、しばらくの間は回転しています。
「ふろ自動」保温中にとどきポンプが回る	浴槽のお湯の温度を検知するため、およそ15～30分間隔で回ります。
運転終了後もしばらく音がする	すべての運転終了後、ポンプがしばらく回ります。
冬場など気温が低いとき追いだきと暖房のポンプが自動的に動く	凍結予防のため、ポンプが自動運転を行っています。
とどき水抜き栓から水が出る	水抜き栓がしっかり閉まっていないと水漏れします。 給湯側の水抜き栓は過圧防止安全装置をかねていますので、圧力を逃すためにお湯(水)が出る場合があります。
雷が鳴ったあと機器が作動しない	落雷の際に、機器内の漏電安全装置が作動したことが考えられます。この場合は電源プラグを一度コンセントから抜き、再度差し込んでください。それでも使用できないときはお買い上げの販売店、または最寄りのガス会社・弊社窓口にご連絡ください。

故障かな?と思ったら

リモコン	
こんなとき	こんなことが考えられます/ここを調べてください
ON/OFF ボタンを押しても「ON」にならない	停電していませんか。(→P.6) 電源プラグがコンセントに差し込まれていますか。(→P.10)
リモコンの画面表示がいつのまにか消えている	お湯を使わないまま、またはリモコンの操作をしないまま5分以上たつと、画面表示が消えます。(省電力待機中)
リモコンの時刻表示が「--:--」になっている	停電や電源プラグを抜いた後、復電後の時刻表示は「--:--」になります。リモコンの取扱説明書をご覧ください、時刻合わせを行ってください
音が出ない	音量の設定が無音や無音声になっていませんか。リモコンの取扱説明書をご覧ください、設定を確認してください。
音が小さい	音量の設定は適切ですか。
音がこもる	スピーカー部分にお湯(水)がかかっていますか。
画面に❄️や❄️を表示、または🔧を点滅表示している	凍結予防のためポンプが作動しているとき、リモコンの画面に表示します。(→P.11)
突然音が鳴る	目標警告音を鳴らす/[あり]に設定していると、エネルギー計測開始1週間以上経過した時点で、突然リモコンから音が出る場合があります。 この音はエネルギーの目標警告音です。自動または任意で設定された目標を超えてしまうと、音でお知らせします。詳しくはリモコンの取扱説明書をご覧ください。

暖房	
こんなとき	こんなことが考えられます/ここを調べてください
床暖房の温度が低くなったり、浴室暖房乾燥機の温風温度が低下する	給湯・暖房・おふろ沸かしを同時に行うと一時的に能力が下がり、床暖房の温度や浴室暖房乾燥機の温風温度が、低くなる場合があります。
床面がなかなかあたたまらない	床仕上げ材の種類・外気温度・住宅構造などにより床暖房があたたままるまでの時間は異なります。 床暖房の温度設定は適切ですか。 暖房・給湯・おふろ沸かしを同時に行うと能力が下がり、床がなかなかあたたまらない場合があります。
床暖房を使用していないのに床があたたまる	暖房回路内にたまった空気を抜くためと暖房ポンプの固着を防止するために、約1か月ごとにポンプが作動します。このときに他の暖房端末機器(浴室暖房など)を使用していると、床の温度が一時的に若干上昇する可能性があります。

その他	
こんなとき	こんなことが考えられます/ここを調べてください
浴槽・洗面台が青く見える	湯あかが残っていると、水中の微量の銅イオンと化合して青く変色することがありますが、健康上問題はありません。浴室や洗面台の掃除をこまめに行うことで着色しにくくなります。

故障かな?と思ったら

■エラー表示について(リモコンに表示されます)

機器に不具合が生じると、その原因をリモコンにエラー番号で表示または点滅してお知らせします。

〔浴室リモコン〕

エラー番号によっては、給湯やふろ温度表示部に補足の番号が出ることがあります。
ご連絡の際は、エラー番号と併せてお知らせください。



〔台所/増設リモコン〕

簡易表示のため、エラー番号のみを点滅表示します。



お客様で対処が可能なもの		
エラー番号	原因	処置
011	給湯を60分以上連続で使用した	給湯栓を閉める。 ON/OFF ボタンを「OFF」にし、5秒以上経過後「ON」にする。
032	浴槽の排水栓閉め忘れ (フルオートタイプの場合)	浴槽の排水栓を閉める。 ON/OFF ボタンを「OFF」にし、5秒以上経過後「ON」にする。
	水抜き操作時の浴槽排水忘れ	浴槽の湯(水)を排水する。 ON/OFF ボタンを「OFF」にし、5秒以上経過後「ON」にする。
111※1	給湯側の点火不良	ガス栓が全開になっていることを確認する。 ON/OFF ボタンを「OFF」にし、5秒以上経過後「ON」にする。
113※2	暖房・追いだき側の点火不良	※1 エラー番号111・121が表示されたときは、給湯栓を閉めることによりエラーが解除される場合があります。 ※2 エラー番号113・123が表示されたときは、すべての暖房端末機器の運転スイッチの「入」/「切」も行ってください。
121※1	給湯側失火	
123※2	暖房・追いだき側失火	
252	浴槽の排水栓閉め忘れ	浴槽の排水栓を閉める。 ON/OFF ボタンを「OFF」にし、5秒以上経過後「ON」にする。
	追いだき時に浴槽のお湯(水)が足りない	ON/OFF ボタンを「OFF」にし、5秒以上経過後「ON」にする。 循環口の上部より5cm以上お湯(水)を入れてから追いだきする。
	循環口フィルター詰まり	循環口フィルターを掃除し、正しく取り付ける。 ON/OFF ボタンを「OFF」にし、5秒以上経過後「ON」にする。
	ふろ自動ボタンと追いだきボタンを押し間違えた	ON/OFF ボタンを「OFF」にし、5秒以上経過後「ON」にする。 ふろ自動ボタンを「入」にする。
562	注湯・注水ができない	断水でないこと、または給水元栓が全開になっていることを確認する。 ON/OFF ボタンを「OFF」にし、5秒以上経過後「ON」にする。

◇処置をしてもなお、エラーが表示されるとき、上記以外エラーが表示されたとき、その他わからないときは、お買い上げの販売店、または弊社窓口までお問い合わせください。

以下の場合には、お買い上げの販売店、または弊社窓口までご連絡ください		
エラー番号	原因	状態
100	燃焼に異常が生じた	良好な燃焼を維持できず能力を低下しました。 機器は使用できますが、安全のため修理を依頼してください。 そのまま使用すると“990”となり、機器の使用ができなくなります。
290	中和器の詰まり	修理を依頼してください。
920	中和器異常	機器はしばらく使用できます(エラーは消えませんが)、中和器の交換が必要なため、早めに修理を依頼してください。
930	中和器寿命	機器の使用はできません。中和器の交換が必要なため、修理を依頼してください。
990	燃焼に異常が生じた	機器の使用はできません。修理を依頼してください。

その他のエラー

002	030	035	140	170	173	300	302	311	312	313
321	322	331	343	390	422	432	433	510	513	542
543	610	623	632	651	660	700	710	711	720	740
750	760	763	768	769	900	903				

アフターサービスについて

サービスを依頼されるときは

- 「故障かな?と思ったら」(→P.18～21)をご確認ください。それでも直らない場合、あるいはご不明の場合にはご自分で修理なさらないで、お買い上げの販売店、または最寄りのガス会社・弊社窓口にご連絡ください。
- アフターサービスをお申しつけの際は、次のことをお知らせください。
 - (1) お名前・ご住所・電話番号・道順(付近の目印等)
 - (2) 品名・ガスの種類
機器の銘板をご覧ください。(→P.2)
 - (3) 現象
故障または異常内容、エラー番号などできるだけ詳しく。
 - (4) 訪問ご希望日

保証について

- この給湯暖房用熱源機には保証書が付いています。必ず「販売店名・購入日」等の記入をお確かめになり、保証内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証書を紛失されますと、保証期間内であっても修理費をいただくことがありますので、大切に保管してください。
- 保証期間経過後の故障修理については、修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の保有期間について

- この製品の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)の保有期間は製造打切り後10年です。

BL 認定品について

- BL 認定品には、機器の銘板にBL マークの表示があります。
- BL 認定品は、「瑕疵保証」と「損害賠償」のBL 保険付きです。

※BL 認定品についてのお問い合わせは一般財団法人ベターリビング
TEL: 03-5211-0680(お客様相談室)までご連絡ください。

転居または機器を移設される場合

- ガスの種類が異なる地域へ転居される場合は、調整・改造の必要があります。お買い上げの販売店、または転居先のガス会社にご相談ください。
- 増改築などのため機器を移設される場合、工事には専門の技術が必要となりますので、必ずお買い上げの販売店、または最寄りのガス会社・弊社窓口にご連絡ください。
- 設置場所の選定にあたっては、運転音や振動が大きくなり伝わりやすい場所をお選びください。
また、機器本体の排気口からの温風や運転音が隣家の迷惑にならないような場所を選ぶなど、ご配慮ください。
- 転居、移設にともなう調整や工事の費用は、保証期間内でも有料となります。

長期間使用しない場合

- 長期間使用しない場合は次の操作をしてください。
※機器の故障や凍結および、万一のガス漏れを防止するため。
 - (1) ガス栓を閉めます。
 - (2) 給水元栓を閉めます。
 - (3) 機器の水抜きを行います。(→P.13)
 - (4) 電源プラグを抜きます。

アフターサービスなどについてわからないとき

- お買い上げの販売店、または最寄りのガス会社・弊社窓口にお問い合わせください。

「あんしん点検」のすすめ

本製品は、ご使用開始から10年前後をめぐに「あんしん点検」(有料・任意点検)をお受けいただくことをおすすめいたします。

■あんしん点検について

【点検の内容について】

- ・あんしん点検は、お客さまの任意で受けていただく有料の点検です。
- ・あんしん点検は、点検時点での製品の安全を確認するためのもので、製品の延命や性能の保証を延長するものではありません。
- ・点検の実施は、全国の弊社サービス店が行います。
- ・点検の内容および点検基準は、当社で設定しています。
- ・点検の結果は、作業終了後その場で「点検作業票」にてお知らせします。点検の結果、不適合となった場合には、可能な限りの選択肢をご提案させていただきます。この場合、整備(修理・部品の交換など)を行って使用を継続するかどうかはお客様の判断となります。
(製品の修理に必要な補修用性能部品の保有期間は、**補修用性能部品の保有期間について**(→P.22)をご覧ください)

【点検の料金について】

- ・点検は有料で実施させていただきます。また点検の結果、整備を実施する場合は、別途整備費用が発生いたします。
- ・なお、あんしん点検の内容や料金などにつきましては、下記のアドレスからご覧いただけます。
<https://www.purpose.co.jp/>
- ・インターネットでご確認できない場合は、弊社窓口「点検受付センター」にご連絡ください。

【点検の時期について】

- ・本製品は、設計上の標準使用期間※を10年と算定しておりますので、ご使用開始から10年前後をめぐに「あんしん点検」をお受けいただくことをおすすめいたします。
- ※設計上の標準使用期間とは、標準的な使用条件の下で、適切な取り扱いで使用し、適切な維持管理が行われた場合に、安全上支障なく使用することができる標準的な期間として設計上設定される期間になります。「無料修理保証期間」とは異なりますのでご注意ください(無料修理保証期間は保証書を参照願います)。

【点検のお申し込みについて】

- ・あんしん点検のお申し込み・お問い合わせは、点検受付センターまでご連絡ください。
フリーコール：0120-323-884 受付時間/ 年中無休 9:00～17:00

■お客様情報について

【所有者登録について】

- ・製品を安全にお使いいただくために所有者の登録をお願いしております。同梱の所有者票を返信もしくは、インターネットにてご登録ください。
- ※インターネットから登録される場合は、<https://user.purpose.jp/takagi/pcIndex.jsp>もしくは所有者票のQRコードを読み取りご登録ください。
- ※ご登録いただいたお客様情報は、個人情報保護法および弊社規定により適切な安全対策のもとに管理し、任意点検(あんしん点検)やリコール等の製品安全に関するお知らせをする場合以外には使用いたしません。

*「QRコード」は株式会社デンソーウェブの登録商標です。

〔仕様表〕

項 目		内 容		
品 名		XT4220LRSAW4C	XT4220LRSAW4CZ	XT4220LRSSW4C
型 式 名		GH-H241Z (A)WS		
外形寸法 (mm)		幅250×奥行417×高さ895		
質 量 (kg)		40		
種 類	給 湯 方 式	先止め式		
	暖 房 方 式	温水循環方式		
	給 排 気 方 式	屋外強制排気方式		
設 置 方 式		屋外設置形		
点 火 方 式		ダイレクト着火		
水 圧	使 用 水 圧	100～750kPa (1.0～7.5kgf/cm ²)		
	最 低 作 動 水 圧	10kPa (0.1kgf/cm ²)		
最 低 作 動 水 量	給 湯	1.9ℓ/分		
	暖 房	0ℓ/分以上(締切り使用可)		
	ふ ろ	3.8ℓ/分		
接 続	ガ ス	20A (R3/4オネジ)		
	給 水・給 湯	20A (R3/4オネジ)		
	暖 房	CHM ジョイント		
		CCHM ジョイント		
	房 戻 り	CCHM ジョイント		
	ふ ろ	CCHM ジョイント		
電 気 関 係	ド レ ン	15A (R1/2オネジ)		
	電 源	本体電源 AC100V (50/60Hz)		
	リ モ コ ン 側	DC24V 以下		
	消 費 電 力	1.5W (浴室・台所リモコン取付時)		
		2.8W (エネファーム用 浴室・台所リモコン取付時)		
係	同 時 使 用	240W		
	凍 結 予 防 作 動 時	280W		
リモコンコード		浴室リモコン2心、台所リモコン2心		
安 全 装 置		立消え安全装置(フレームロッド) ファン回転検出装置(燃烧ファン) 空だき安全装置(バイメタル式) 誘導雷保護装置(サージアブソーバ) 空だき防止装置(水量センサ・水流スイッチ・水位電極) 漏電安全装置(漏電リレー) 過熱防止装置(温度ヒューズ) 沸騰防止装置(出湯温サーミスタ) 過電流防止装置(電流ヒューズ) 凍結予防装置(凍結予防ヒータ・ポンプ運転) 過圧防止安全装置(スプリング式)		

〔能力表〕

使用ガス 使用ガスグループ		ガス消費量kW {kcal/h}				出湯能力(最大)ℓ/分		能力kW {kcal/h}		ガス 接続
		給湯・暖房 同時使用	給湯(最大)	ふろ	暖房	水温＋ 25℃上昇	水温＋ 40℃上昇	追いだき	暖房	
都 市 ガ ス	13 A	50.0{43,000}	44.1{37,900}	16.1{13,800}	16.1{13,800}	24.0	15.0	9.88{8,500}	14.0{12,000}	20A (R3/4)
	12 A	46.6{40,100}	41.0{35,300}	15.0{12,900}	15.0{12,900}	22.4	14.0	9.88{8,500}	13.0{11,200}	

◎ガス：JISに規定する標準ガス、標準圧力のとき。

◎出湯能力は、水圧200kPa {2kgf/cm²} のときで、温度を高め設定し、水と混合させることにより可能となる最大流量の計算値をいいます。

◎本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。



メモ



給湯暖房用熱源機

商品保証書

品名 XT4220LRSAW4C XT4220LRSAW4CZ XT4220LRSSW4C

お買い上げ日		年 月 日		保証期間 おおよび 保証対象区分	BL認定品	熱交換器	3年
お客様	ご芳名	様				それ以外の部分	2年
	ご住所						
販売店	店名	電話番号			扱者印		
	住所				印		

お客様へ

- この保証書をお受取りになるときに お買い上げ日・販売店名・扱者印が記入してあることを確認してください。
- 本証書は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保管してください。

上記機器をお買い上げいただきましてありがとうございます。この保証書はおお客様の通常のご使用により万一故障した場合には、本書記載内容で無料修理をお約束するものです。

記

- (1)保証期間は上記品名の機器をお買い上げの日から表記の期間とし機器本体を対象とします。
- (2)万一故障の場合はお買い上げの販売店、または弊社修理受付センターへお申し出ください。原則として出張修理をいたします。なお、離島および離島に準ずる遠隔地へのお出張修理を行った場合、出張に要する実費を申し受けます。
- (3)サービス員が参上したときに本証書をご提示ください。紛失されると有料修理となる場合があります。
- (4)保証期間中でありましても次の場合には有料修理となります。
 - (イ) 当製品の取扱説明書、又は貼付ラベル等のご案内によらないでご使用になり故障した場合。
 - (ロ) 当製品の工事説明書によらないで施工されたり、専門業者以外による修理、移動、改造等を行ったことにより故障した場合。
 - (ハ) 設置環境の経年変化に伴う故障、及び塗装の色褪せ・摩擦等により生ずる機能に影響ない変化。
 - (ニ) 海岸付近・温泉地等の地域における腐食性の空気環境に起因する機能に影響ない変化。
 - (ホ) ねずみ・くも等の生物活動に起因する故障。
 - (ヘ) 住宅用途以外（例えば業務用・船舶・車両上でのご使用）にてご使用された場合の故障。
 - (ト) 火災・地震・洪水・落雷等の天変地異、凍結、又は暴動等の破壊行為による故障。
 - (チ) ガス・電気・給水の供給トラブルによる故障。
 - (リ) 熱量変更、又は移動等に伴う調整、確認作業。
 - (ヌ) 給水・給湯配管の錆び等異物混入による故障。
 - (ル) 温泉水・井戸水をご使用になったことによる故障。
 - (ヲ) 水道法に定められた飲料水の基準に適合しない水をご使用になったことによる故障。
- (5)本書は、日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
- (6)この保証書によって保証書を発行している者、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- (7)商品や技術のお問い合わせ等はお買い上げの販売店、または最寄りのガス会社・弊社窓口へお問い合わせください。

パーパス株式会社

〒417-8505 静岡県富士市西柏原新田201